

社会教育研究部門

「教育と公共」研究部会（第26回）

日時：2021年6月11日（金）13:00～14:30

場所：オンライン（Zoom使用）

出席：上野正道・浅井幸子・狩野浩二・仲田康一・藤井佳世 各兼任研究員
吉久知延所長・金沢千秋・山口和人・川上智子（野間教育研究所事務局）

欠席：田嶋一

内容：（1）仲田研究員報告：「英国の新労働党による教育改革における『公共』」

◆新労働党政権の成立とその教育政策

- ・1997年労働党マニフェスト
- ・1997教育白書『学校における優秀さ』（Excellence in Schools）
- ・2001教育白書『学校:成功を達成する』（Schools achieving success）

◆政策潮流の断絶と連続

- ・政策の基本線の継続
- ・地方（教育）当局の再強化 vs 学校改善 school improvement への強い要請
- ・校長や教師への注目 vs 教師、校長の「モダナイゼーション」
- ・格差への問題意識 vs 改善に向けた民営化の萌芽

（2）上野研究員：「シティズンシップ教育と公共性」

◆アクティブ・シティズンシップの教育

- ・マーシャルの福祉国家シティズンシップ論（市民的要素、政治的要素、社会的要素）
- ・社会的階級の二つの類型
- ・階級的偏見と富の不平等の存続
- ・シティズンシップと国民意識
- ・物質生活の格差の縮小
- ・社会的サービス
- ・社会的権利の個人的要素と社会的要素
- ・産業的シティズンシップ
- ・シティズンシップの平等と経済的不平等は両立するのか
- ・権利と義務のバランス変化
- ・二つの原理の葛藤とその解決

・次回研究会 7月9日（金）13:00～